

数量計算書（測量業務）

種 別	細 目	算 式	数量	単位	摘 要
打合せ業務					
業務打合せ	着手前 測量業務		1	回	
路線測量					
現地踏査	平地・耕地		0.05	km	
横断測量	測量幅50m平地・耕地	堤体の代表断面 測量幅50m程度	0.05	km	
旅費・交通費					
旅費・交通費	測量業務打合せ 2時間まで	着手前	1	回	

数量計算書（設計業務）

種 別	細 目	算 式	当初	単位	摘 要
設計業務					
設計数値及び基本断面の検討	堤高3.4m、設計堤長54m全面改修		1	箇所	
堤体の安定計算	堤高3.4m、設計堤長54m全面改修		1	箇所	
浸透流の検討	堤高3.4m、設計堤長54m全面改修		1	箇所	
点検取りまとめ		作業量により補正あり	1	箇所	
照査		作業量により補正あり	1	箇所	
調査解析業務					
打合せ業務					
業務打合せ	着手前解析等調査業務		1	回	
業務打合せ	中間解析等調査業務		1	回	
業務打合せ	最終解析等調査業務		1	回	
地質・土質調査解析					
既存資料の収集・現地調査 （解析）	土質ボーリング2本		1	業務	

数量計算書（設計業務）

種 別	細 目	算 式	当初	単位	摘 要
資料整理取りまとめ（解析）	土質ボーリング2本		1	業務	
断面図等の作成（解析）	土質ボーリング2本		1	業務	
総合解析とりまとめ	土質ボーリング2本	試験種目5種（サンプリング、標準貫入試験、現場透水試験、物理的試験、力学的試験）	1	業務	
旅費・交通費					
旅費・交通費	設計業務打合せ 設計業務 2時間まで	着手前1、中間1、最終1	3	回	

数量計算書（地質調査業務）

種 別	細 目	算 式	当初	単位	摘 要
地質・土質調査業務		調査ボーリング N=2箇所			
直接調査費					
ボーリング調査					
地質調査 土質ボーリング (オールコア)	φ86mm 粘性土・シルト	①堤体高3.4m+②堤体下流側中間部1.7m	5.1	m	
地質調査 土質ボーリング (オールコア)	φ86mm 礫混じり土砂	①基礎地盤下3.4m+②基礎地盤下3.4m	6.8	m	
地質調査 現場透水試験	ケーシング法 GL-10m以内	堤体頂部1回+堤体下流側1回	2	回	
地質調査 サンプリング	シンウォールサンプリング (軟弱な粘性土 0≦N値≦4)		2	本	
地質調査 標準貫入試験	粘性土・シルト 1.0m/回	①堤体高3.4m+②堤体下流側中間部1.7m	5	回	
地質調査 標準貫入試験	礫混じり土砂 1.0m/回	①基礎地盤下3.4m+②基礎地盤下3.4m	7	回	
室内試験					
土粒子の密度試験	1試料につき3個	堤頂コア+下流側コア	2	試験	
土の含水比試験	1試料につき3個	堤頂コア+下流側コア	2	試験	
土の液性限界試験	粘土・粘性土 1試料につき6個	堤頂コア+下流側コア	2	試験	

数量計算書（地質調査業務）

種 別	細 目	算 式	当初	単位	摘 要
土の塑性限界試験	粘土・粘性土 1試料につき6個	堤頂コア+下流側コア	2	試験	
三軸圧縮試験 (間隙水圧測定有)	力学的試験 圧密非排水試験 (C U b 試験) 供試体35mm	サンプリング試料	2	試験	
土の粒度試験(1)	沈降分析	堤頂コア+下流側コア	2	試験	
土の粒度試験(2)	ふるい分析試料0.5kg以下	堤頂コア+下流側コア	2	試験	
土の湿潤密度試験	1資料につき3個(A法寸法 測定法)		2	試験	
解析等調査					
資料整理取りまとめ	一般	ボーリング本数 2本	1	業務	
断面図等の作成	一般	ボーリング本数 2本	1	業務	
調査業務直接経費					
地盤情報データベース登録 点検費		ボーリング本数 2本	1	式	
運搬費					
現地搬入搬出費	基地～ため池 往復L=16km想定		1	回	
準備費					

数量計算書（地質調査業務）

種 別	細 目	算 式	当初	単位	摘 要
準備及び跡片付け			1	業務	
調査孔閉塞	ボーリング孔閉塞		2	箇所	
仮設費					
地質調査 足場	平坦地足場		1	箇所	
地質調査 足場	傾斜地足場 地形傾斜45° ~60°		1	箇所	
旅費・交通費					
旅費・交通費	調査外業用（日帰り）	日当り作業量			
		φ86（粘性土）=5.1(6.0×0.85)m/日 φ86（礫混じり土砂）=2.55(3.0×0.85)m/日			
		$5.1/5.1+6.8/2.55=3.6回 \div 4回$			
		準備 1回 + 跡片付け 1回 =2回 4回 + 2回 = 計6回	6	回	